

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 岩美高等学校

|      |      |     |           |
|------|------|-----|-----------|
| 重点項目 | 地域連携 | 提出日 | 令和4年4月20日 |
|------|------|-----|-----------|

|   |   |
|---|---|
| 1 学校目標  |   |
| <p>(1) 郷土を愛し、鳥取県及び地域に貢献する人財を育成する。</p> <p>(2) 自らを信じ、他者を敬い、礼節を重んじる人間を育成する。</p>  |   |
| 2 重点項目に係る目標・成果  |   |
| 目標  | 成果  |
| <p>(1) 部活動を振興し、健康で心身のバランスのとれた人間の育成に努める。</p> <p>(2) 地域と連携した学校づくりに向けて、一層の充実に努める。</p> <p>&lt;数値目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動全員加入</li> <li>・「地域に貢献したい」と思う生徒の割合<br/>→全校の80%以上</li> <li>・地域と連携した授業の実施件数<br/>→延べ50講座</li> <li>・「地域と連携し、地域に貢献する活動が生徒の人間力の育成に効果を上げている」と思う職員の割合<br/>→75%以上</li> </ul>  | <p>○陸上、女子バレーボール、ウエイトリフティング、スキーの4競技が全国高校生総合体育大会に出場。その他運動部、文化部ともに活気ある活動が行われた。</p> <p>○岩美町住民と協働・連携した地域探究型学習をとおして課題発見力や主体的行動力等が向上した。(生徒自己評価による)</p> <p>&lt;数値結果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動加入率は全校で100%。</li> <li>・「地域に貢献したい」と思う生徒の割合は86.2%と目標を上回った。</li> <li>・「地域と連携し、地域に貢献する活動が生徒の人間力の育成に効果を上げている」と思う職員の割合は84.8%と目標を上回った。</li> </ul> |
| 3 実施事業  |   |
| <p>【高等学校課事業】</p> <p>文化芸術活動支援事業</p> <p>(1) 文化部校外・合同練習会支援事業</p> <p>(2) 備品事業(郷土芸能備品、楽器等)整備</p> <p>【独自事業】</p> <p>(1) 社会で活躍する人材の育成(福祉交流活動、手話指導の充実、ろう者・団体との交流等)</p> <p>(2) 地域を理解し地域に貢献する人材の育成(山陰海岸ジオパーク学習、イワッツ・ミッション等)</p>  |   |
| 4 総合所見(成果・評価)   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の振興を進路実現に繋げる生徒が増加した。(例:日本大学スポーツ科学部(陸上部)、武庫川女子大学健康・スポーツ科学部(女子バレーボール部)等)類型制における学びとの相乗効果と史料する。</li> <li>・探究型学習の質的向上の兆しが見られた。例えば、未完プロジェクトではあったが、実地調査を踏まえた高校生目線からの構想として提案された、岩美町役場や岩井温泉旅館組合も巻き込んだ岩美町スポーツパークプランにはどの聴衆もがワクワクした。地域連携強化は、社会と繋がる学びや実践的な地域貢献、発信型の学習等に奏功しつつある。</li> <li>・地域と連携した探究型学習が高校卒業後の進路を定める大きなきっかけとなる生徒が増えてきた。公立鳥取環境大学に進学した2名が好例。フィールドワーク重視の探究型学習をとおして、地域課題をわがごととして捉えたからこそ、両名とも環境課題を解決する主体としての責任感や使命感を高めた。この思いに見合う実践力を習得するにはどうしても公立鳥取環境大学に進学して勉強したいと粘り強く取り組み続け、人間的にも大きく成長することができた。</li> </ul> |   |

※枚数任意